太田市立宝泉中学校　第３学年　学年通信　第１４号

有終の美

令和４年２月２日（水）

○公立前期入試間近

いよいよ、公立前期入試が迫ってきました。受検する生徒には入試の日まで体調管理をしっかりして、自分の実力が十分に発揮できるように準備をほしいと思います。前期入試はほとんどの学校で面接試験を実施します。面接官はその人がどんな人物であるかを身だしなみや服装、言葉遣いなどから判断する場合があります。髪型を整えに床屋に行ったり、制服にアイロンをかけたり、上靴をきれいにしたりと試験の準備をお子さんと一緒にしていただければと思います。よろしくお願いいたします。受検票も今日配布いたしました。汚したり、折ったり、破いたりすると、高校からは「受検を軽く見ている」と取られかねません。点数に影響があるかないかはわかりませんが、印象は良くありません。受検後も受検票は使用することもあるので、入学するまで大切に管理するようお子さんにお声かけをお願いします。

○油断大敵一手洗い、マスク着用、保温、栄養補給、睡眠を！

コロナ感染が拡大していて、群馬県や太田市の学校現場でも感染が増え始めています。学校では、感染拡大防止のため、手洗い、うがい、マスクの正しい着用、換気、３密を避けるなど、基本な感染対策を徹底しています。各ご家庭におかれましたも適切な健康管理をしていただいており、感謝しています。何事も健康あってのことです。ちょっとした気の緩みに気を付けて、入試を迎えていきたいと思います。卒業までの登校日数は３０日を切りました。卒業まですべての生徒が元気に過ごせるよう、学校と家庭で協力していければと考えていますので、よろ　しくお願いいたします。

の予定

・16日（水）は臨時集金日です。実力テスト代の3，000円と美術で使った教材代300円の集金になります。支払う業者が違うのでそれぞれの金額を用意してください。後日各業者からの集金袋を配らせていただきます。
・前期入試が終わると卒業式の練習が始まります。義務教育最後の行事です。素晴らしい式になるよう練習していきたいと思います。

月	火	水	木	金	土・日
	1 ①～④期末テスト 給食後放課 制服登校	2 ①～④期末テスト ⑤総合 制服登校・体育着持参	3 A型6時間 木①～⑥	4 A型6時間 金①～⑥	5 6
7 A型5時間 月③①②④⑤	8 A型3時間 公立前期試験 受検者以外は登校し3時間活動	9 A型6時間 水①～④火③⑥ 公立前期試験2日目	10 A型6時間 木①～⑥	11 建国記念の日	12 13
14 A型5時間 月①～⑤	15 A型6時間 火①～⑥	16 A型6時間 水①～④木⑤⑥ 臨時集金日	17 A型6時間 木①～④水⑤⑥ ※前期未受検者は給食後放課になります。	18 A型6時間 金①～⑥	19 20
21 B型5時間 月①～⑤ 出願準備委員会	22 A型4時間 火①～④	23 天皇誕生日	24 A型4時間 木①～④	25 A型5時間 水③～⑤・表彰・専門委員会	26 27
28 A型5時間 月①～⑤	1	2	3	4	5

以下の文は、私が部活動で大会前に部員に話したことの一部です。お子さんと一緒に読んでみていただけたらと思います。

ある夏のこと、林間学校での出来事です。先生は生徒を集めて言いました。
「今日は山登りをする。ほら、あの山だ。だが、みんな、気をつけてくれ。あそこにはマムシがたくさんいるからね。マムシに噛み付かれたら死んじゃうよ。そこで、これを用意した。長靴だ。これを履けば、足を噛まれても大丈夫。それからこの竹の棒、先頭の人がこれを持って、前をたたきながら歩く。そうすれば、マムシは逃げるだろう。では、出発するぞ。先頭には誰がなってくれるかな」
先生はそういって生徒にうながしましたが、みんな怖がって、誰ひとり先頭に立つものはいません。
「しかたがない。それでは先生が先頭になろう」
と言って、先生が先頭になって歩き出しました。
ビシッビシッと竹の棒で草木をたたきながら登っていったのです。しばらくして先生は、竹の棒をスポンとほうり投げ、
「あれ、棒があんなところに飛んでいっちゃった。君たち拾って来てくれないか」
と生徒たちに頼みましたが、マムシが怖いので、拾いに行く者はいません。
「じゃ、仕方がない帰るとするか。まわれ右して、一番後ろの者が今度は先頭になれ」
するとどうでしょう。みんな嫌がって、結局、先生がまた先頭になって帰ったのです。
さて、夕食に一同が集まった時、先生はこういいました。
「今日はみんなに魔法をかけてみた。魔法に使った道具は三つ。長靴と竹の棒と“マムシがいるぞ”という言葉。この三つの道具で、マムシがいると思い込んでしまった。実際はマムシなんか一匹もいません」

〇心には様々な思いが浮かんできます。善き思いが浮かんでくればよいのですが、善くない思いが浮かぶことの方が多いと思います。まだ起こってもいないことに対しての漠然とした不安もです。現実に起こっていないことに不安をいだいても、何の意味もないのですが。心には次から次へと将来への漠然とした不安の念が浮かんできます。
私たちの心は、真実でないものをあたかも真実であるかのごとく思い込んでしまうところがあります。ですから、心のありようがとても大切なのです。

『心こそ、心迷わす心なれ　　心に心、心ゆるすな』

という仏教の言葉があります。「敵は身内にあり」ってよく言いますが、日々の自分の心をいかに保つか。これが勝負の鍵です。